

災害の発生、長時間の停電に備えて 災害対策、停電対策の準備をしていますか？ 災害時・緊急時 要チェックリスト

●全ての患者さん

- 家族や訪問診療の担当医師、訪問看護師、介護ヘルパー等と緊急時の連絡方法を確認している。
- 避難場所や避難方法を確認している。居住地のハザードマップを持っている。
- 災害発生から3日間は携帯電話が使えなくなることを想定して、家族、訪問診療の担当医師、訪問看護師、介護ヘルパー等との連絡方法、訪問日、シフト等を相談してある。
- 緊急避難先を訪問診療の担当医師と相談している。(近くの病院→遠方の被災地以外の病院へ搬送される。一般の避難所には受け入れてもらえない可能性が高く、支援物資は避難場所にしか届かない。地域によっては災害時要援護避難者等の避難所が設置されている。)
- 停電が発生した時の対処方法を医療関係者、介護関係者等と相談している。
- 充電できる場所が近くの地域にあるかどうか確認している、充電できる場所を知っている。
- 3日間の停電を想定して吸引器や介護ベッド、エアーマット等のために予備電源やバッテリーを準備している。携帯電話の充電を常にしている。
- マンションに住んでいる人は停電や配電設備の故障等でエレベーターが使えないことを想定して、避難方法(搬送方法、人員確保)を考えて準備している。避難場所(入院先)を確認している。
- 食料、経腸栄養剤(エンシュア、ラコール等)、水、衛生用品は、1週間分のストックがある。
- 避難や緊急入院時の持ち出し袋を用意している。(保険証、救急時医療カード、常備薬、意思伝達の方法、呼吸器の設定、経管栄養の方法、分量など1日のケア表、他)
- 災害発生後や計画運休等で交通機関がストップ(数日間、長期間)することを想定して、訪問診療の担当医師や訪問看護師、介護ヘルパー等と相談している。
- 行政機能が1カ月停止することを想定して、近所の患者・家族と安否確認や支援物資の配給方法等の支援協力体制について相談している。
- 家族だけで24時間介護ができる。(介護サービスが受けられなくなることを想定)
- 支援物資を送ってもらえる遠方の親せきや友人がいる。

●人工呼吸器を使用している患者さん

- 人工呼吸器の外部バッテリーやポータブル吸引器のバッテリーを定期的に充電、通電、確認している。(満充電のまま保存したり、残量0%の状態でも長期間放置するとバッテリー劣化の原因になる)
- 3日間の停電を想定して人工呼吸器や排痰補助装置の外部バッテリーや予備電源を準備している。充電するための発電機を準備している。
- 充電できる場所が近くの地域にあるかどうか確認している、充電できる場所を知っている。
- 蘇生バッグ(アンビューバッグ)をいつでも使用できるように備えている。家族も介護ヘルパーも普段から蘇生バッグ(アンビューバッグ)を使っている、使用できる。
- 足踏み式吸引機を持っている。いつでも使えるように準備している。
- 災害時個別支援計画を保健所保健師、担当医師、訪問看護師、介護関係者等と定期的に確認している。

東京電力 停電発生状況 千葉県 <http://teideninfo.tepco.co.jp/html/12000000000.html>

【患者さん、ご家族、患者さんの関係者様へ大災害発生時のお願い】→ 大災害が発生したら、患者さんの安否情報を災害用伝言ダイヤル(171)に患者さんの自宅の電話番号で伝言を録音してください。

【災害用伝言ダイヤル（171）の基本的操作方法】

「171」をダイヤルし、音声ガイダンスに従って伝言の録音、再生を行って下さい。

操作手順		伝言の録音		伝言の再生			
①	171をダイヤル	171					
②	録音または再生を選ぶ。	[ガイダンス] こちらは災害用伝言ダイヤルセンターです。録音される方は1、再生される方は2、暗証番号を利用する録音は3、暗証番号を利用する再生は4をダイヤルして下さい。					
		(暗証番号なし)		(暗証番号あり)			
		1	3 [ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX	2	4 [ガイダンス] 4桁の暗証番号をダイヤルして下さい。 XXXX		
③	被災地の方の電話番号を入力する。	[ガイダンス] 被災地域の方はご自宅の電話番号を、または、連絡を取りたい被災地域の方の電話番号を市外局番からダイヤルして下さい 0XX XXXX XXXX					
伝言ダイヤルセンターに接続します。							
④	メッセージの録音 メッセージの再生	[ガイダンス] 電話番号XXXXXXXX (暗証番号XXXX) の伝言を録音します。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。		[ガイダンス] 電話番号XXXXXXXXの伝言をお伝えします。プッシュ式の電話機をご利用の方は数字の「1」をおして下さい。ダイヤル式の方はそのままお待ち下さい。なお、電話番号が誤りの場合、もう一度おかけ直してください。			
		ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合	ダイヤル式電話機の場合	プッシュ式電話機の場合		
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)		1	(ガイダンスが流れるまでお待ちください)		
		[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピッという音のあとに30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら電話をおきり下さい。	[ガイダンス] 伝言をお預かりします。ピッという音のあとに30秒以内でお話下さい。お話が終わりましたら数字の9を押してください。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。	[ガイダンス] 新しい伝言からお伝えします。伝言を繰返すときは数字の8を、次の伝言に移る時は数字の9を押して下さい。		
		伝言の録音		伝言の再生			
		(ガイダンスが流れるまでお待ちください)	録音終了後 9 [ガイダンス] 伝言を繰返します。訂正されるときは数字の8を押して下さい。再生が不要な方は9を押してください。 録音した伝言内容を確認する。	[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。電話をお切り下さい。		[ガイダンス] お伝えする伝言は以上です。伝言を追加し録音されるときは数字の3を押して下さい。 (ガイダンスが流れるまでお待ちください)	
[ガイダンス] 伝言をお預かりしました。		[ガイダンス] 電話をお切り下さい。					
⑤	終了	自動で終話します。					

覚えてください、災害時の声の伝言板 災害用伝言ダイヤル(171)

* 伝言を録音する際は、患者さんの自宅の電話番号でダイヤル（入力）してください。

* 災害発生に備えて事前に災害伝言ダイヤル(171)の利用方法を練習して使用できるようにしてください。